

服薬情報提供書の作成機能を追加

医療機関との連携強化へ

長岡京ゆう薬局

京都府長岡京市にある長岡京ゆう薬局は、皮膚科と整形外科クリニックを中心に外来患者の院外処方箋を応需しつつ、在宅訪問クリニックと連携して在宅医療にも注力している。外来・在宅訪問業務ともに欠かせないのがC.Medicalが開発したクラウド薬歴「コネクトレポート」である。5月にトレーシングレポート（服薬情報提供書）の作成機能が新たに搭載され、トレーシングレポートの作成時間が大幅に短縮されたことで、患者対応や医療機関との連携を強化していく。

長岡京ゆう薬局は、JR長岡京駅から南西に徒歩約8分の道路沿いに立地する。隣接する皮膚科クリニックと、近くの整形外科クリニックを中心に月3800〜4000枚ほどの処方箋を応需。店内では皮膚科医師が推奨する低刺激の化粧品なども販売している。

2019年3月に近隣の薬局2店舗を統合する形で開設し、現在は薬剤師9人、医療事務員8人体制で運営している。同店では月に1度、待合室で地域住民の健康増進を目的にピアノやフルートなどの演奏に乗せて合唱する「うたごえサロン」というイベントを開催している。薬局に通う患者以外にも参加でき、

クラウド上の電子薬歴として機能するもので、タブレットやノートパソコンでいつでもどこでも閲覧できる。

同店では在宅医療を受け持つに当たって、まず医師の訪問診療に同行して患者の状況や治療方針を把握するようにしているが、コネクトレポートがきっかけで、治療方針の決定に貢献できた例があるという。

患者が過去に別のクリニックを受診していたことを医師が把握しておらず、過去の薬歴を共有したことで、その情報を加味して治療方針を決定できたのだ。

夏紀氏は、「外来の情報も含めて、訪問先で薬歴を確認できるのは非常に効果大きい」と語る。コネクトレポートは在宅訪問と外来業務で使い分けできる。開発・改良には薬剤師が携わっており、実際に各現場で使用する薬剤師目線で機能が搭載・拡充されている点

現場の声反映し更新も迅速

外来業務向けでは、5月にトレーシングレポートの作成機能が追加された。「服薬情報提供書」や「重複投薬等に係る報告書」など7種類のひな形から一つ

を選ぶと、登録済みの薬歴情報をもとに、患者の名前や生年月日、受診している医療機関名や医師名などの情報が記載されたレポートが自動で生成される。薬剤師はコメントや処方提案を追記するだけで済むため、作成時間を大幅に短縮でき



「うたごえサロン」の様子

西村氏は「トレーシングレポートの作成時間が半減した」と話す。同店ではこれまでエクセルを使ってトレーシングレポートを記入していたが、エクセルソフトが入っていないパソコンの台数が限られているため、パソコンの順番待ちになることも多かった。それがなくなったという。

トレーシングレポートの作成時間が短縮されたため、今後は患者のより良い薬物療法の実施に向けて医療機関との連携を強化していく構え。西村氏は「薬物療法について、医師に相談しにくいことも、薬剤師には言える場合もある。トレーシングレポートで事前に患者さんの思いを医師に伝えることで、患者さんが医師に相談するきっかけを作りたい」と語る。

同店では21年2月にコネクトレポートを導入したが、続々と機能が拡充されて、年々使いやすさが増しているという。昨年には医師やケアマネジャー、訪問看護師ら多職種への報告書送信を効率化する機能が搭載された。画面上でボタンを押すだけで、登録先のFAXに報告書を送信できるようになった。一旦、報告書を紙にプリントアウトしてFAXで送信する手間がなくなった。コネクトレポートには、在宅訪問時に記載した薬歴の内容を自動的に報告書形式にまとめる機能が備わっているが、新機能が加わったことで、現場でタブレットを操作して要点を入力すればその場ですぐ報告書が送信できるようになった。FAXは月初や月末、曜日を指定して送信予約も設定できる上、送信履歴も残るので管理しやすい。

ほかにも、処方箋に記載されている検査値をもとに薬の服用が適切かを自動判断する機能が加わった。

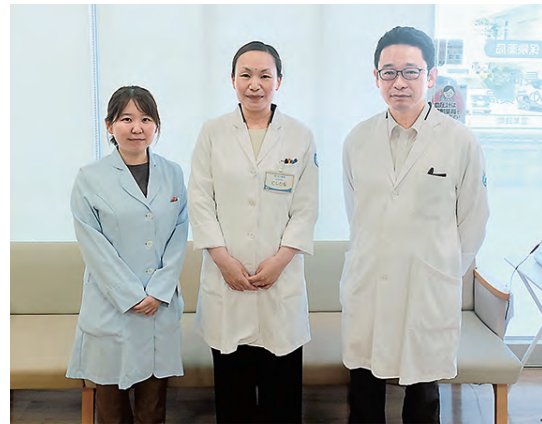
在宅訪問においては、各薬剤師の訪問予定を一覧で確認できる機能があることで、現場でスケジュールの組み立てがしやすくなった。外来対応や社用車の利用状況なども考慮しながら、その場で次の訪問日時を考えることができる。

同薬局を受け持つようホールディングス取締役の四方勝教氏は、コネクトレポートについて「現場の声を反映して機能を拡充してくれている。機能の更新スピードも早い。必要な機能を精査して搭載しているため、価格も抑えられていると感

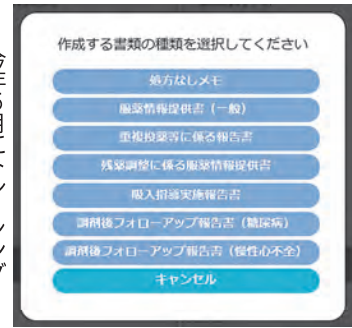
じている」と感想を述べる。西村氏も「コネクトレポートを使いこなして、在宅訪問の対応力も上げていきたい」と先を見据える。



長岡京ゆう薬局



右から四方氏、西村氏、一般職スタッフ



今年5月にトレーシングレポートの作成機能が追加された

作成する書類の種類を選択してください

- 処方箋しめこ
- 服薬情報提供書（一般）
- 重複投薬等に係る報告書
- 処方調整に係る服薬情報提供書
- 吸入指導実施報告書
- 調剤後フォローアップ報告書（糖尿病）
- 調剤後フォローアップ報告書（慢性心不全）
- キャンセル

現場薬剤師が作った
薬歴アプリ
Connect Report



Point1 シンプルな画面構成で「これさえあれば」を実現

- 医薬品の相互作用や疾患と医薬品の監査情報が表示されます。
- 処方変更が色付きで表示され、変更点が瞬時に確認可能。

Point2 薬剤師が求める「あると便利」な業務効率化機能を多数搭載

- 薬品名をクリックすると添付文書(PDF)の閲覧がすぐに可能。
- バイタルや検査値を一覧で確認できるので患者様の変化を見逃すことなく服薬指導を行うことができます。
- 処方箋についての指導例文が薬歴記載画面に常に表示。ハイリスク薬の指導等に必要な内容をいつでも簡単に参照・引用することができます。
- 処方日数にカーソルを合わせると、その薬の服薬終了予定日がポップアップ。受診間隔や薬の切れるタイミングが一目で確認できます。(※PC版のみ)

Point3 ペーパーレスを実現した薬歴

- トレーシングレポートや医療機関からの情報提供書類など、患者様に関わる紙の書類は全てクラウド保存することができます。
- 患者様の住所から地図アプリと連携することにより、お届けなどスムーズな対応ができます。
- 次回来局予定日及び投薬後のフォロー予定日について、カレンダー画面による一覧確認が可能。在庫管理やフォロー管理に役立ちます。

Point4 在宅支援システムが充実

- 薬歴から1クリックで報告書作成。さらに、インターネット経由でFAX送信が可能。
- グループ管理機能により施設管理もらくらく。
- カレンダー機能で訪問予定も簡単管理。
- 写真機能を用いて画像で患者様の状態や特記情報を共有する事が可能。

